

# ありがとう! Cam on, ...遊びや言葉で国際文化交流



## 国際交流2016

産業交流部会

# 柘植地域 まちづくりだより 第180号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局  
(柘植地区市民センター内)

三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地

〒五一九一四〇二

電話 四五・八八八〇 FAX 四五・八八八三

発行日 二〇一六(平成二十八年)十二月十五日(木)

→  
新年門松絵札短冊を  
各戸配布しました。  
(若干予備有ります)



11月19日(土)、柘植地域に在住の外国の方々と文化交流を目標に、市民センターで恒例の「国際交流事業」を開催しました。

地元金属精密部品会社(株)伊藤精工で勤務するベトナム・ポリビアなど外国の方々13名、地元の県立あけぼの学園高校の先生と生徒6名を加えて合計45名が参加。今年のテーマはこれまでとは趣向を変え、「防災&日本文化」と設定して取り組みました。

最初のプログラムとして、日本の伝統である「ゆかた」を外国のみなさんに着ていただきました。その後は、ゆかた姿で昔の貴族のあそびであったといわれる



## 投扇興にチャレンジ



「投扇興」を楽しんでいただきました。かんたんなようで奥の深いルールがあり、参加者全員、思わぬ日本文化の新発見でした。

その後は、世界地図を見ながら、地元バンドグループのグリンリープスによる演奏とホールカルで、世界の音楽を味わいながら、「疑似世界旅行」を楽しみました。

加えて、飛び入りであけぼの学園高校の生徒やベトナムの方によるお国の歌も交えてコンサートは盛り上がりっぱなしでした。





お昼前(11時50分頃)に、和歌山県南部を震源とする震度1の地震がありました。偶然とはいえ、地震はいつ起こるかわかりません。参加された外国の皆さんに、柘植地域の防災の取組みや避難方法などについて説明をすることもに防災食を食してもらいました。また女性部会員が心を込めて作った特製おでんで、参加者全員で団らんの場を持ちました。(防災食は伊賀市総合危機管理室の提供)



午後には、恒例のビンゴゲームを行い、好みの品をそれぞれゲットしていました。

閉会に際し、産業交流部会長であり国際交流事業実行委員会の佐藤孝一委員長が、「本日参加した一人ひとりが、日本とベトナムやポリビアとの懸け橋になりましょう」との言葉により、楽しかった催しを締めくくりました。

## 高齢者の交通事故をなくそう



12月9日(金)午後、市民センターで伊賀警察署、交通安全協会、生活環境部会が主催で高齢者の交通安全講習会が行われました。

## 反射材や目立つ色を

交通事故による死亡者は減少していたが、今年になって増えており、三重県は10月交通事故多発非常事態宣言を出しています。特に、高齢者の事故が多く、全体の約6割が65歳以上の高齢者とのことです。

加齢に伴っていつの間にか判断力や視力の低下が進み、思わぬ所で事故となっているようです。特に冬場の夕暮れ時、歩く時は必ず反射材を着け、黒・緑・青などの服装ではなく、遠くからでも目立つ白い服装が良いようです。

また夜間、自動車のライトは上向きが基本との話がありました。

## 「しぐれ忌」を終えて…

山出区しぐれ忌協賛事業実行委員会 11月12日(土)午前9時半〜山出区萬壽寺にて、百名を超える方にお越しいただき、「しぐれ忌」を開催しました。コーラス「ユー」による『芭蕉讃歌』の合唱に始まり、芭蕉翁顕彰会会長(西田誠さん)の開式の言葉などに続き、落合任職による法要が営まれました。

その後、松尾家の墓碑に献花、境内では、山出区女性部による甘酒とお茶のもてなしがあり、温かい甘酒に「これが楽しみで毎年参加しています」との声も聞かれました。



本堂では岡本市長の挨拶の後、伊賀文化産業協会専務理事、福田和幸さんに『横光利一の中の芭蕉と俳句』と題し、ご講演いただきました。

利一自作の俳句も資料として展示されました。その他、芭蕉翁二百年遠忌の「手向集」や柘植小児童の絵手紙の展示、山出区有志による菊花と寄せ植え展が小春日に彩りを添えました。今年協賛事業の一環として『芭蕉さんのこころ ふるさとの想い』という小型のパンフレットを作製し、皆さんにお渡ししました。ありがとうございました。

### ふれあい農業まつりで

## 黒豆「あんまきちゃん」好評販売

特産品創出事業実行委員会

11月23日(勤労感謝の日)に前川育苗センターで行われた第17回農業まつり。今年はまだ協から特産品「柘植の黒豆」による「あんまき」などの出品を行い、祭りを盛り上げました。



新戦力となるホットショーケース(写真)により、作りたてのようなほかほかの状態をキープでき、結果、あっという間に完売。感謝申し上げます。

12月3日には野村圃場にて刈取、続く10日には前川育苗センターを使って脱穀



をしました。J Aで借りた脱穀機を使って、あけぼの学園生徒も含め15名で作業をしました。写真は、機械に黒豆の枝などが詰まりやすいので時間を区切って清掃メンテナンスをしている様子です。

### 12月24日(土)には、正月用煮豆に適した黒豆を市民センターで販売予定。

NHKで放送されたこともあり、問い合わせが多くなりました。予約をいただいた方は必ず用意します。(後日文書等にて連絡させていただきます。)



### NHKの取材風景

一般販売は当日の午後1時〜3時ですが、予定数を超えた場合は終了します。なるべく予約をお願いします。

## トレイルランニング大会に参加して...

### 地元への応援が気持ちを高ぶらせた

### いつもと違う柘植地域を実感...

柘植地域に住む一員である私が、地元をコースとするこの大会に参加させていただくことになりました。このレースは、距離45キロ、標高の累計が2500メートルという本格的なコースです。

スタートして霊山を越えると柘植の在所に…。小さい頃から住み慣れたまちですが、この日はいつもとは違う景色のように感じました。

道角で誘導してくれる地元の人たちの声援が、さらに私の気持ちを高ぶらせてくれます。

市民センター(エイドステーション)では、かたやきや養肝漬おにぎりなどで疲れも癒されます。

おかげさまで6時間55分28秒という記録で無事にゴールすることができました。スタッフ、ボランティアの皆様には大変お世話になりました、ありがとうございます。

来年は参加者も沿道の応援もさらに盛りあがることを祈っております。

梅田英明(野村区在住)





特集 柘植地域の公共施設

その9 柘植放課後児童クラブ<スマイルキッズ>

電話 0595-45-2818

場所は、市民センター近くの住宅地にあり、平成16年に改修した木造2階建ての民家を利用しています。スマイルキッズは平成17年に開設され、現在はNPO法人ふれあいステーション都美恵が受託運営しています。

開館時間は、柘植小学校の下校時間～午後6時(春・夏・冬休み等は朝8時～午後6時)、休館日は土・日・祝日と8/13～15、12/29～1/3です。

日によって利用人数は違いますが、現在、登録者は1～6年生まで23人います。



もともとが民家ですので、アットホームな雰囲気があります。また都美恵神社や柘植小学校などのそばにあるため外遊びもメニューにあり、利用者の子もたちは楽しく過ごしています。

地域の身近な相談者

12月1日から3年任期で新たに就任された民生委員・児童委員、主任児童委員を紹介いたします(敬称略)。各区ならびに柘植地域のために、よろしくお願ひします。

主任児童委員	西	南	北	中	東	民生委員・児童委員
中島好美(山出)	野村 中柘植	上村 前川	山出 小杉	倉部 下町	上町 柘植青葉台	岡鼻 小林
	梅澤一美	堀忍	佐々木嘉久	増岡茂樹	岡島秀夫	西口教則
	宮島千恵子	中島公子		清水節子	西村郁子	中住洋子
				中邦子		

民生委員児童委員・主任児童委員の選任につきましては、各区からの推薦などにより、柘植地域まちづくり協議会が「市との基本協定書」に基づいて推薦しております。

2016年度人権作品(柘植地域の小中学生分)

- 作文 市長賞『自分を点検していくこと』小学生の部  
柘植小学校6年 松浦剛士さん
- 優秀賞『自分を見つめることから～毎日が人権学習』  
柘植中学校3年 八幡優花さん
- 佳作『辛い時 友の言葉 心の支え』  
柘植中学校3年 稲覇未来さん
- 入選『伝えよう 自分の気持ち はっきりと』  
柘植小学校5年 谷口咲月さん

ポスター 入選



柘植小学校6年 川口あかねさん 柘植中学校3年 松山歩生さん

○●事務局だより●○  
▼12月2日にふるさと会館いがで開催された差別をなくすいがまちの集いで紹介のあった作品を右記にまとめました。▼年末を控え事務局より反省2点。▼①今年度予定していましたが『まちづくり計画』改定は進捗の目途が立たず、来年度に回すことに。②保育園跡地利用の件も調整に時間を要しそうです。▼ともあれ、サル年からトリ年へ。ニワトリは飛び回りますが、古来より時を告げる人間の身近で大切な存在。そんなまちづくり協議会にしていきたいものです。(西田方計)